

大会プログラム 3月18日(土)

【第2会場/4F・講義室6】

- 14:00～15:30 倫理コンサルテーション1
胃がんが疑われる認知症のある高齢単身者の意思決定支援
座長(ファシリテーター): 三浦 靖彦(東京慈恵会医科大学附属柏病院)
事例提供(相談者): 佐久間 昌代(戸塚共立第2病院)
- 15:40～17:10 倫理コンサルテーション4
超高齢者の救急・終末期医療における治療方針決定について
座長(ファシリテーター): 西田 伸一(西田医院)
事例提供(相談者): 清水 幸裕(南砺市民病院)

【第3会場/4F・講義室5】

- 14:00～15:30 倫理コンサルテーション2
疾名未告知であった失語症の事例
座長(ファシリテーター): 藤島 一郎(浜松市リハビリテーション病院)
事例提供(相談者): 渡邊 淳子(福岡大学病院リハビリテーション部)
- 15:40～17:10 倫理コンサルテーション5
経鼻胃管の選択について
座長(ファシリテーター): 竹下 啓(青山学院大学)
事例提供(相談者): 三上 容司, 馬場 葉子(横浜労災病院)

【第4会場/3F・講義室4】

- 14:00～15:30 倫理コンサルテーション3
要介護高齢患者の集中治療継続の是非をめぐる苦悩
座長(ファシリテーター): 寺嶋 吉保(徳島県立病院)
事例提供(相談者): 明石 恵子(名古屋市立大学看護学部)
- 15:40～17:10 倫理コンサルテーション6
緩和ケア病棟で自殺念慮が見られた症例への対応について
座長(ファシリテーター): 長尾 式子(神戸大学大学院)
事例提供(相談者): 山田 陽介(豊島病院緩和ケア内科)

大会プログラム 3月19日(日)

【第1会場/4F・演習室】

- 8:30~9:30 会長挨拶
基調講演
チーム医療と臨床倫理
演者：有賀 徹(第5回年次大会長)
座長：新田 國夫(学会理事長)
- 9:30~10:30 特別講演
「最善の医療」の実現に向けた人格主義生命倫理学の取り組み
座長：塚田 敬義(岐阜大学医学系研究科再生応用学講座医学系倫理・社会医学分野)
演者：秋葉 悦子(富山大学経済学部経営法学科・刑事法)
- 10:30~12:30 シンポジウム1：看取りをめぐる倫理課題への取り組み
座長：梅田 恵(昭和大学院保健医療学研究科・昭和大学病院看護部)
S1-1 看取りの場の移行と倫理
演者：斉藤 康洋(GP クリニック自由が丘)
S1-2 集中治療領域における看取りと取り巻く倫理的課題
演者：宇都宮明美(聖路加国際大学大学院 看護学研究科)
S1-3 医師が遭遇するアドバンス・ケア・プランニングに関する倫理的課題
演者：浜野 淳(筑波大学 医学医療系)
S1-4 看取りを巡る倫理的課題に直面した看護師のメンタルヘルス
演者：福宮 智子(昭和大学病院, 昭和大学保健医療学部看護学科)
- 12:30~13:30 ランチョンセミナー1
「臨床倫理」を理解する上で知っておきたい基礎理論—現場実践に活かす「倫理的に考える力」を身につけるために—
演者：板井孝壱郎(宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科生命・医療倫理学分野／宮崎大学医学部附属病院 中央診療部門臨床倫理部)
座長：箕岡 真子(東京大学大学院医学系研究科, 箕岡医院)
共催：セコム医療システム株式会社
- 13:30~14:00 総会
- 14:00~16:00 シンポジウム2：臓器移植に関連する諸問題
座長：小野 元(聖マリアンナ医科大学脳神経外科学)
S2-1 脳死下臓器提供と臨床倫理
演者：会田 薫子(東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座)
S2-2 円滑な脳死下臓器提供に向けて

演者：横田 裕行(日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野／臓器移植関連学会協議会臓器提供施設体制整備委員会)

S2-3 小児の脳死と臓器提供に関する意識の変化について

演者：荒木 尚(日本医科大学付属病院高度救命救急センター)

S2-4 臓器提供の意思を生かすために医療者が出来る事は何か

演者：中村 晴美(聖マリアンナ医科大学病院 移植医療支援室／神奈川県臓器移植コーディネーター)

16:00～18:00 シンポジウム3：医療安全と臨床倫理

座長：兼兒 敏浩(三重大学病院医療安全・感染管理部)

S3-1 患者の目線で考える医療安全と臨床倫理

演者：横山 貴之(増田・横山法律事務所)

S3-2 身体拘束を巡る医療安全と臨床倫理

演者：小林 美亜(千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部 地域医療連携部)

S3-3 医薬品の適応外使用に係る医療安全と臨床倫理

演者：寺田 智祐(滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部)

S3-4 医療安全担当部門と臨床倫理担当部門の“協働”と“すみ分け”

演者：綾部 貴典(宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部、臨床倫理部、外科学講座 呼吸器・乳腺外科学分野)

S3-5 医療安全と臨床倫理に係る諸問題

演者：稲葉 一人(中京大学法科大学院)

【第2会場/4F・講義室6】

10:30～12:15 一般演題1

座長：富田 博樹(日本赤十字社)

O1-1 レム睡眠行動障害の告知における臨床倫理的問題

演者：下畑 享良(新潟大学脳研究所神経内科)

O1-2 命に関わる治療方針の決定に際する小児科医の葛藤

演者：笹月 桃子(九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野(小児科))

O1-3 協働意思決定(Collaborative Decision Making)とは何か

演者：井上みゆき(山梨県立大学 看護学部)

O1-4 適応外薬の使用をめぐるマネジメント体制

演者：塚田 敬義(岐阜大学大学院医学系研究科 医学系倫理・社会医学分野)

O1-5 脳死下臓器提供に至るまでの救命医療における倫理的問題

演者：杉野 達也(兵庫県立西宮病院 救命救急センター)

O1-6 脳死患者治療を健康保険給付外とする倫理的妥当性

演者：福原 徹(独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 脳神

経外科)

- 01-7 日本人の死生観と終末期医療における臓器提供が停滞することの意味
 演者：杉谷 篤(国立病院機構 米子医療センター)

12：30～13：30 ランチョンセミナー 2

介護現場に潜む転倒の危険と安全な福祉用具の活用

- 演者：二瓶 美里(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 人間環境学専攻)
 共催：フランスベッド株式会社

14：00～15：45 一般演題 2

座長：清水 貴子(聖隷浜松病院)

02-1 チーム STEPPS と臨床倫理

演者：鈴木 肇(新潟市民病院)

02-2 医療メディエーションを用いた緩和ケアチームカンファレンスの対話

演者：出森 智子(社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 TQM
 センター)

02-3 チーム医療における倫理的ジレンマへのアプローチ

演者：加藤 雅子(医療法人篠原湘南クリニック クローバーホスピタル)

02-4 臨床倫理コンサルテーションと対応困難事例

演者：野口 善令(名古屋第二赤十字病院)

02-5 急性期病院における倫理コンサルテーション

演者：中山 貴博(横浜労災病院 神経筋疾患部)

02-6 倫理コンサルテーションチームの組織づくりと活動報告

演者：藤田 千鶴(藤田保健衛生大学病院)

02-7 当院における倫理コンサルテーションチームの立ち上げと今後の課題

演者：足立 佳澄(倉敷医療生活協同組合 総合病院 水島協同病院)

16：00～17：45 一般演題 3

座長：川崎志保理(順天堂大学)

03-1 当院における臨床倫理コンサルテーションチーム活動の評価

演者：馬場 葉子(独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院)

03-2 階層化意思決定法の倫理問題への応用

演者：羽金 和彦(栃木医療センター)

03-3 看護部倫理委員会の変遷とこれからの課題

演者：福地本晴美(昭和大学保健医療学部看護学科・昭和大学病院)

03-4 専門看護師の倫理調整役割を活用した看護倫理事例検討会の評価

演者：福地本晴美(昭和大学保健医療学部看護学科・昭和大学病院)

03-5 倫理コンサルテーションチーム立ち上げによる影響についての考察

演者：久田 敦史(名古屋第二赤十字病院)

03-6 豊島病院緩和ケア病棟における多職種協働ツールとしての Jonsen 4 分割表活用の実際

演者：山田 陽介(東京都保健医療公社豊島病院)

O3-7 倫理カンファレンスに関する看護師の実態調査

演者：福宮 智子(昭和大学病院, 昭和大学保健医療学部看護学科)

大会プログラム 3月20日(月・祝)

【第1会場/4F・演習室】

- 8:30~10:30 シンポジウム4: 認知症の人を対象とする研究倫理(臨床研究のあり方)
 座長: 稲葉 一人(中京大学法科大学院)
 箕岡 真子(東京大学大学院医学系研究科/箕岡医院)
- S4-1 看護介護領域における「認知症の人を対象とする研究倫理」の必要性の検討
 演者: 諏訪さゆり(千葉大学大学院看護学研究科)
- S4-2 要約 Executive Summary and Recommendations
 『認知症の人を対象とする研究倫理についての提言』
 演者: 箕岡 真子(東京大学大学院医学系研究科/箕岡医院)
- S4-3 認知症の人の意思決定能力の評価, およびそれに関わる論点
 演者: 江口 洋子(慶應義塾大学医学部精神神経科学教室)
- S4-4 研究参加における「本人意思」に関わる論点
 演者: 竹下 啓(青山学院大学教育人間科学部)
- S4-5 研究参加における家族の代理判断に関わる論点, および研究のリスクの大きさとの関係など
 演者: 荻野美恵子(北里大学医学部附属新世紀医療開発センター 横断的医療領域開発部門包括ケア全人医療学)
- 10:30~12:30 シンポジウム5: 地域包括ケアと臨床倫理
 座長: 川越 正平(あおぞら診療所・東京医科歯科大学臨床教授)
 岸 恵美子(東邦大学看護学部)
- S5-1 セルフ・ネグレクトの実態と専門職に求められる役割
 演者: 岸 恵美子(東邦大学看護学部)
- S5-2 地域包括ケアシステムを育む2本の柱
 演者: 関口 久子(東京都北区赤羽北地域包括支援センター)
- S5-3 横浜市における, いわゆる「ごみ屋敷」対策の取り組み
 演者: 嘉代佐知子(横浜市健康福祉局福祉保健課人材育成担当課)
- S5-4 ためこみ症(Hoarding disorder)と所謂「ごみ屋敷」問題
 演者: 磯野 理(公益社団法人信和会 京都民医連第二中央病院)
- 12:30~13:30 ランチョンセミナー3
 一流芸人から学ぶ! チームを笑顔に導く『笑いの五原則』
 演者: W マコト(中山真・中原誠)
 共催: ニプロ株式会社
- 13:30~15:30 シンポジウム6: 震災から学ぶ臨床倫理
 座長: 稲葉 一人(中京大学法科大学院)

- S6-1 熊本地震関連における倫理的問題
演者：新田 國夫(日本臨床倫理学会, 日本在宅ケアアライアンス)
- S6-2 災害に対応する赤十字社医療事業推進本部としての, 経験から
演者：富田 博樹(日本赤十字社医療事業推進本部)
- S6-3 震災から学ぶ臨床倫理
演者：久田 敦史(名古屋第二赤十字病院 総合内科)
- S6-4 震災の現場の対立・葛藤から見えてくる臨床倫理
演者：石原 明子(熊本大学大学院社会文化科学研究科)

【第2会場/4F・講義室6】

10:30~12:15 一般演題4

座長：呉屋 朝幸(小山記念病院)

- O4-1 多職種参加の倫理カンファレンスを取り入れた看護師の倫理教育の評価と課題
演者：永富美知子(名古屋第二赤十字病院)
- O4-2 倫理的問題に気づき・倫理コンサルテーションのできる人材を地域で育てる
演者：井上 京子(公益社団法人 調布市医師会訪問看護ステーション)
- O4-3 高齢者ケアの質の向上のために
演者：人見 裕江(岐阜聖徳学園大学)
- O4-4 当院における多職種での倫理教育研修を実践して
演者：沢口 夏季(独立行政法人国立病院機構 三重病院)
- O4-5 救急医療現場での倫理的問題に対する考察
演者：神原 淳一(名古屋第二赤十字病院 救急科)
- O4-6 埋込型LVADを行った後、合併症により心臓移植の適用外となった患者におけるポンプ交換手術の要否
演者：飯島 祥彦(名古屋大学大学院医学系研究科)
- O4-7 維持透析拒否をめぐる倫理チーム内のCCNSの役割
演者：宮下 照美(藤田保健衛生大学病院)

12:30~13:30 ランチョンセミナー4

救急隊は、傷病者の意思を優先すべきか、それとも救命を優先すべきか？
～傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生のあり方について～

座長：坂本 哲也(帝京大学医学部救急医学講座)

演者：田邊 晴山(一般財団法人救急振興財団 救急救命東京研修所)

共催：株式会社へるす出版

13:30~15:00 一般演題5

座長：山口 武兼(豊島病院)

- O5-1 急性期病院におけるDNAR合意

- 演者：鈴木 聡(石巻赤十字病院)
- O5-2 本人の意思が確認できないまま、末梢点滴での在宅療養を選択された
認知症状の顕著な患者の一例を通して
演者：吉田 久江(戸塚共立第1病院)
- O5-3 リハビリテーション医療の専門職が有すべき徳に関する探究
演者：山野 克明(熊本保健科学大学保健科学部 リハビリテーション
学科)
- O5-4 チームで挑む尊厳を大切にした関わり
演者：中丸 智保(介護付有料老人ホーム クローバーガーデン)
- O5-5 在宅看取りにおける主治医との連携でのジレンマ
演者：河野 宏美(セコム成城訪問看護ステーション)
- O5-6 介護老人保健施設における、看取りに対する職員の意識調査
演者：山岸 ゆき(医療法人篠原湘南クリニック 老健リハビリセン
タークローバーヴィラ)